

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		地域交通安全活動推進協議会運営支援事業				☐ マニフェスト 関連 ☐ 全庁横断 課題関連 ☐ 集中改革 プラン関連			
総合計画体系	政 策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	後藤一男
	施 策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名	長島正和
	基本事業	9	交通事故防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線)	1225
						法令根拠		地域交通安全活動推進委員及び地域交通安全活動推進委員協議会に関する規則	
予算科目		会計 1	款 2	項 1	目 3	事業連番 10042	☐ 20年度で終了 ☐ 21年度から開始		成果優先度評価結果 11 コスト削減優先度評価結果 6
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 地域交通安全活動推進委員が相互に連携して組織的かつ効果的に活動できるよう支援するほか、関係機関・団体との連絡調整を行い、もって事故のない明るい社会づくりの貢献する。 【業務の流れ】 協議会が行う全国交通安全運動に伴う活動、交通安全教育指針に基づく交通安全教育の推進、駐車違反の指導、街灯活動の推進などへの支援 【主な予算費目】 負担金補助及び交付金									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	20年度と同じ
全国交通安全運動に伴う支援活動	
違法駐車指導/パトロール	
年末年始の交通事故防止運動への支援活動	
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)
	⇒ア協議会主催事業参加回数 回
	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
地域交通安全活動推進協議会	⇒ア地域交通安全活動推進委員数 人
	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
協議会主催事業に参加してもらう。	⇒ア協議会主催事業に参加した委員の延べ人数 人
	イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)
事故を起こさないよう行動できる	⇒ア市民が第1当事者となった県内での交通事故発生件数 件
	イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業費	財源内訳	千円							総 トータル コスト (期間 限定複 数年 度の み記 載)
		国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	100	100	100	100	100	100	
	(A)事業費計	千円	100	100	100	100	100	100	0	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
人件費	正規職員従事人数	人		3	3	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間		110	110	160	160	160	160	
	(B)人件費計	千円	0	438	438	637	637	637	637	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	100	538	538	737	737	737	737	0
活動指標		ア回 イ	11	11	11	未把握	11	11	11	目 標 合 計 値 画 22 年度
対象指標		ア人 イ	6	6	5	5	5	5	5	
成果指標		ア人 イ	44	40	66	未把握	55	55	55	
上位成果指標		ア件 イ	380	364	380		370	360	360	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
道路交通法に基づき、公安委員会が委嘱した地域交通安全活動推進委員で組織する協議会が発足した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
交通事故等の増加により、協議会の行う啓発事業もより活発になっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし

事務事業名		地域交通安全活動推進協議会運営支援事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課																					
2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年事業は20年度における途中評価																											
目的妥当性評価	①政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 地域交通安全活動推進委員に協議会主催業務に参加してもらうことで、市民への啓発となり結果に結びつく。																									
	②公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 協議会への支援を行うことで、協議会が行う交通安全活動が円滑に実施され、市の交通安全推進が図られるので、妥当である。																									
	③対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象、意図とも現状で適切である。																									
有効性評価	④成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 委員への働きかけをより一層行うことで、協議会主催事業に参加する委員も増えてくる。																									
	⑤廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 協議会への支援を打ち切ることで、推進委員の活動が活発に行われなくなり、地域の交通安全活動に支障をきたす。																									
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 協議会へ支援する事業は、本事業だけである。																									
効率性評価	⑦事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 負担金の算出基礎(推進委員1名×20,000円)に基づき支出しており、削減の余地はない。																									
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 支援業務であり、削減の余地はない。																									
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 全市民を対象とした交通安全の推進を図るための支援事業であり、公平である。																									
3 評価結果の総括(SEE)																											
(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ⇒ (2) 全体総括(振り返り、反省点) 有効性については、委員への働きかけを今以上に行うことで、成果の向上余地がある。																											
4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)																											
(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) (2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>									コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上		○																								
	維持																										
	低下																										
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 委員との連絡を密にして、積極的な活動を働きかける。																											
5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)																											
<table><tr><td>(1) 目的の直結度</td><td>9</td><td>(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)</td></tr><tr><td>(2) 貢献度</td><td>12</td><td>(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)</td></tr></table>							(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)	(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)															
(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)																									
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)																									